

令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 高良内小学校プラン

《学校の教育目標》 自ら学び 心豊かに たくましく生きる子どもの育成

《本年度 学校の重点目標》 **か かわ り あ う 子 ど も の 育 成**

新たに獲得した知識や技能をそれまでのものと関連づけたり、組み合わせたりして、様々な場面で活用し、新たな価値を創り出すことができる。【つくる力】

いろいろな考え方や特性を持った子どもや育ってきた環境が違う子どもたちが、対話を通して他者を理解・尊重し協働できる。【つなぐ力】

感情的にならず自分をコントロールしながら、自分の夢や目標に向かって最後までやりぬき、自分で考えて行動できる。【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②自分の考えや学んだことの確実な定着のための書く活動(アウトプット)を活性化するために、モデル文の提示や机間指導を行う。(国語、算数を中心に:毎時間)
【成果指標】「学校の授業がよく分かる」と答える児童の割合 評価:3.1以上(児童アンケート:4段階)
- ③Chromebook等ICTを活用した授業づくりを行うとともに、児童がICTを資料収集だけでなく、表現活動や交流活動などさまざまな場面で活用できるようにする。(1日3時間以上)
- ④ALTを活用し外国語を用いて他者とコミュニケーションを図ったり、書いたりする活動を工夫する。(外国語 毎時間)

笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②会議の目的・時間設定が適切かの見直し(衛生委員会や運営委員会) 会議や終礼での提案については、ICTを活用した資料の配付を推奨し、データを保存整理する(毎回)
【成果指標】「先生は分かるまで教えてくれる」と答える児童の割合が3.3以上(児童アンケート:4段階評価)

協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

- ①「くるめアクションプラン」の初期対応を徹底し、いじめ・不登校対策委員会での対応策の検討と、全職員で共有する場を設ける。(月に1回) また、教師と児童による面談(教育相談週間)を実施し、不安や悩みの早期発見と対応につなげる。(学期に1回) 【成果指標】不登校児童数20%減、いじめの認知件数10%増加
- ②児童会や委員会中心として日常の廊下の歩き方や室内での過ごし方を見つめさせ、「休み時間の安全な過ごし方・廊下の通り方」「けが人数と発生場所、原因」などを伝える取組を行う。(月1回)
- ③相手に伝わる挨拶や思いやりのある言葉遣いの奨励、異学年合同の縦割り活動を通した自他を認め合う関係作りの推進(毎日)

【体力向上】

- ①体力向上のための準備運動の活性化(持久力を高める短縄跳び、ジョギング走)(毎時間)
- ②楽しく体力づくり! なわとび・長縄の奨励
(「1校1取組」運動)
・体力アップシート活用率:目標 80%
・スポコン広場登録学年数:目標 6学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①「つながる部」と生活委員会と連携して、「全校あいさつ運動(先言後礼)」を行う。(学期毎)
- ②「やりぬく部」と児童の環境委員会が連携し、縦割りでの「あこがれ・やりがい掃除」「だまって掃除」の取組を行い、全職員で評価する。(学期毎)
- ③「家庭学習の手引き」「自学のすすめ」を配布、活用し、10分×学年+10分の家庭学習の推進(毎日)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】自他を大切にしながら行動することができ、楽しく学校生活を過ごすことができる子どもを育てる。[要項 p109~参照]
- 【特別支援教育】特別な教育的支援が必要な児童について個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成・活用して指導・支援を行い、同学年や関係学年との協働的な支援を行う。[要項 p120~参照]
- 【キャリア教育】キャリアパスポートを活用して、行事や学期末に自己の伸びをふり返り、認め合う場を設ける。
[要項 p149~参照]